

社会資本総合整備計画
「茨木市総合交通戦略」

フォローアップ報告書

平成31年 4月

大阪府茨木市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 社会資本総合整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	庄一丁目地区地区計画区域内の人口	人	0	1,200	1,141	確定	×	あり ●	●	1,214	H30年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	平均世帯人数は2.9人で目標値を達成でき、住宅戸数では計画戸数400戸に対し実績421戸となった。また、アクセス道路整備など都市基盤整備により居住環境が向上し、着実に人口定着が図られている。
指標2	車両の桁接触事故件数	件/年	4	0	0	確定	○	あり —	—	0	H30年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	五反田橋梁の改築により、空頭高さが3.0mから3.8mに改善され、車両の桁接触事故が無くなり、通行の安全性が向上した。また、大型バス(3.7m)や大型緊急車両の通行が可能となり、交通の利便性や防災機能が向上した。
指標3	JR茨木駅の年間乗降客数	人/年 (人/日平均)	32,352,870 (88,638)	33,812,870 (92,638)	35,129,060 (96,244)	確定	○	あり —	—	35,777,300 (98,020)	H30年9月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	立命館大学開学に伴う駅利用者の増加に加え、駅東口駅前広場の整備(デッキやエスカレーター等)による交流空間の創出や駅構内の整備(エスカレーター等)により、駅利用者の利便性が向上した。今後も、更なる駅利用者の増加が見込まれる。
指標4						確定		あり			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	JR総持寺駅周辺(半径700m圏内)の新設住宅戸数	戸	96	/	635	確定	/	/	●	301	H30年5月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駅周辺地域においても、駅や駅周辺道路整備などの都市基盤整備を契機とした住宅供給が増加している。
その他の数値指標2	庄一丁目地内の公示価格(標準地)の変動率	%	100	/	102.2	確定	/	/	●	106.8	H31年3月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	都市基盤整備を契機に地価が上昇傾向であり、市域全体の住宅地の地価変動率と比べても高い。また、今後も地価がより上昇すると予想される。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	駅前広場に乗り入れるバス路線の開設など総持寺地域の交通結 節点機能の強化	JR総持寺駅前広場に路線バスの乗入れ(近鉄バ ス)	鉄道との乗継など公共交通の利便性が 向上した。	阪急総持寺駅西口交通広場の整備など総持寺地域の交通 結節点機能の強化を図る。
	安全で快適な歩行者・自転車ネットワークの充実	総持寺駅前線 約600m(阪急総持寺駅~JR総持寺 駅)の歩道整備	両駅間において、安全で快適な歩行者・ 自転車ネットワークの充実が図られた。	今後も継続して事業推進し、安全で快適な歩行者・自転車 ネットワークの充実を図る。
	駅開業をいかした賑わいの創出等により、地域の魅力向上	SOU-JR総持寺駅アートプロジェクトの実施 (自由通路の壁面にアート作品を拡大プリントして展示)	アートに出会う環境をつくり、アートを知る きっかけの場となっている。	今後も継続してプロジェクトに取り組み、地域の魅力向上を図 る。
	駅利用者の利便性向上や利用促進を図るとともに、市の玄関口と してのイメージアップやにぎわい創出	駅東口デッキ(いばらきスカイパレット)を活用した社 会実験(てづくり市や音楽コンサートなど)	実施時にはデッキに多くの人々が訪れ、賑 わいが創出された。	西口駅前広場の再整備など市の玄関口としてのイメージ アップやにぎわい創出を図る。
改善策				
・まちづくりの目標を達成 するための改善策				
・残された課題・新たな課 題への対応策				
・その他 必要な改善策				

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容		